

川崎異業種研究会（以下略称川異研）は、当所会員企業から成る異業種交流のグループです。昭和62年7月に設立され、今年で24年目を迎えます。

川崎異業種研究会のホームページ <http://www.kawaiken.jp/>

11月度定例会

11月10日(木)、ソリッドスクエア会議室にて午後6時より、会員18名と学生他3名の特別参加者を得て開催。当会の副会長で、和光大学経済経営学部准教授 小林猛久氏に「企業における危機管理コミュニケーションの重要性」と題し、ご教示頂いた。

企業不祥事対応の失敗事例や成功事例を基に、対応の早さや事後の適切な対応の重要性、特にマスコミ対応を誤ると思わぬ大損害を招く危険があることを再認識した。また、メディアトレーニングやコミュニケーショントレーニング等で従業員のスキルアップを図り、緊急時の対応準備をしておく必要性も実感した。続いて、10月度県外視察会の報告を現地写真のスライドを見ながら簡潔に行った。

その後、懇親会場に席を移し、盛会のうちに終了した。



11月度分科会

11月2日(水)午後3時より、会員12名、体験希望者3名、学生1名の参加を得て、会員企業の山勝電子工業株式会社 本社事務所を訪問した。

会社概要や開発例から、クオリティー、テクニック、スピード、そしてコストパフォーマンスを含めたトータルクオリティーの高さで基板設計技術を提供している経営理念と、その運用基盤の堅実さ、独自技術の高度とその応用能力の重要性などを再確認した。

また、新商品であるLED照明の性能と、開発過程におけるLED照明の課題克服点についてもご説明いただき、中国や韓国からの輸入品との品質差は無論のこと、日本国内大手電器メーカーと比較しても品質・価格に優位性を持たれていることや、商品価値の周知、価格設定、リースシステム導入など、多様な販売戦略がメーカーにも必要になっていることを知り、経営の難しさを実感した。(副会長 小林猛久氏の報告書より抜粋)

